

若竹



(通算第 116 号)
第 071 号

2021 (令和3) 年 5 月 12 日 : 発行
〒725-0023 竹原市田ノ浦三丁目 2-6
社会福祉法人若竹会「若竹編集室」
TEL0846-22-4440・3090

皆様が、この「若竹」を読まれる頃には梅雨に入っているのでしょうか？

新型コロナウイルス感染症も一年を過ぎ、再拡大しています。最近の報道では変異ウイルスの出現で従来のウイルスより感染するスピードが早く、感染者が増え続けているなど暗い話題で悲しい思いです。

若竹でも、イベントや行事も全くありません。唯一、心がホッとすることは若竹で提供される昼食でしょうか。職員さんが栄養バランスを考えて、心こもった料理を僕たちに作って下さる…癒されます。

今のワクチン接種の現状は、医療従事者も接種がまばらと聞いています。年齢別に接種するという事なので、いつになったら全国民にワクチン接種が行き渡るだろうかとちょっと不安です。

一日でも早く、若竹でもバス旅行などに行ける日が来るといいですね。

K.H

緑生い茂り、梅雨入りの足音が聞こえる、もしかしてコロナの足音の方が聞こえるような今日この頃、皆様はどうお過ごしでしょうか？

気付けば自粛生活も「後少し、後少し」と思いながら一年以上も経ってしまいました。変異株の驚異的な台頭、緊急事態だの、まん防だのと色々な言葉で表現していますが、私たちの出来ることは、手洗い、うがい、会食をしないことなどやる事は変わりません。ワクチン接種までの我慢です。それもいつの事になるやら…ファイザー、アストラゼネカ、モデルナなど全部海外製。欧米はワクチンのお陰で如実に感染者数を減らしています。ワクチンの安全性は置いといて、接種後の世界は元通りでしょうか？ 否、一年以上我慢したんだから、より良い世の中になってくれることを願います。

禍福は糾える縄の如し、或いは塞翁が馬的な、悪い事の後には、いい事があるといいなと思います。耐雪梅花麗の感じで頑張りましょう。Y.T

みなさんの心の声を集めてみました



☆東京の人は、大物の人が亡くならないと自粛できないのかなあ～ ☆眠いなあ
☆オリンピックするのかなあ ☆GW 終わっちゃったなあ…休みの終わるの早っ
☆コロナ、自粛、飽きたなあ～ ☆クロン、ぱっとしないなあ
☆川掃除、しんどかったなあ ☆なんか、消費税とか上がりそうだなあ
☆会ったことないけど、有吉さんご結婚おめでとうございますう



若竹会役員一同

理事長 脇田 恵子
理事 井口 哲彦
理事 山内 英明
理事 吉田 豊
理事 大石 睦子
理事 竹田 博
監事 升元 恵三郎
監事 中尾 泰美

若竹会評議員一同

評議員 亀尾 善熙
評議員 中本 普己
評議員 白石 台造
評議員 吉本 郁子
評議員 増田 正人
評議員 久保田 寛子
評議員 黒田 望

若竹会後援会役員一同

会長 日谷 博光
副会長 竹鶴 紘子
副会長 児玉 忠則
理事 中尾 泰美
理事 山本 晋児
理事 宮本 幹三
理事 竹前 勇二

「ニューノーマルと福祉」



後援会会長：日谷 博光

2020 年度の社会福祉法人「若竹会」の後援会に賛同し年間会費を納めて下さったのは 107 名で 646,500 円を頂きました。各人「コロナ禍」で大変だった時期、よくぞここまで他人(ひと)の事にご後援下さったものと感謝の念に堪えません。

これも、この会報できめ細かく「若竹会」の活動を報告してその暖かさを皆さんにお伝えしているからに違いありません。

いま「ニューノーマル」という言葉が色んな分野で叫ばれています。「新しい正常」とでも訳すのでしょうか。新しい働き方の「テレワーク」 密をさける「ソーシャル・ディスタンス」 感染を防ぐための「手洗い・マスクの着用」会合も一堂に会するのを避けて「Web 会合」スポーツも芸能も「無観客ないし観客制限」・・・。

こんなことは今迄に無かったことですが、今後は「ニューノーマル」になりみんな違和感を感じなくなるのでしょうか？ 「社会福祉」の基本理念である「思いやりの心」には病疫感染の危険はありませんので、オールド・ノーマルとして長く人々の心に残って欲しいのです。

15 年務めさせて頂いた「後援会会長」の職務も「オールド・ノーマル」から「ニューノーマル」に席を譲らせて下さい。

若竹会後援会事務局たより No.70

新型コロナウイルス感染症の出現から 500 日経過とか。今は、第 4 波と言われています。本当につづく長い長い自粛生活になってしまいましたが、後援会の皆さまにはお変わりなくお過ごしのことと推察致します。私たち若竹一同もコロナ対策をしながら、一日一日を過ごしております。

若竹会後援会は、令和 3 年 1 月 31 日、一年間の活動を終了致しました。会計決算を行いまして、升元恵三郎、中尾泰美両監事による監査を 2 月 24 日に終えました。会員の皆さまへのご報告が遅れてしまいましたことを心からお詫び申し上げます。

右記に決算書の写しを掲載させて頂き、会員の皆様に遅ればせながらご報告いたします。詳細につきましては、事務局に於きまして閲覧可能となっておりますので、どうぞお申し出ください。

若竹開所以来、後援会役員をはじめ、会員の皆さまには、数々のご支援を頂戴して参りました。若竹一同心から感謝しております。引き続き、若竹の活動を見守って頂ければ嬉しく思います。

新年度を迎えまして、ご入金下さいました方々のお名前を掲載させて頂きまして、お礼を申し上げます。(順不同、敬称略) ☆日谷博光 宇野武則 小島和幸 小島尚美 谷田百合子 江島千枝 江島和仁 脇田恵子 脇田敏則 釜山愛子 住吉綾子 脇田沙誉子 堀川忍☆ 以上です。

2020 年度後援会会費収支決算報告書

自 2020 年 2 月 1 日		至 2021 年 1 月 31 日	
収 入		支 出	
前年度繰越金	2,100,024	振込手数料	13,602
2020 年度後援会会費	646,500	税金	2
普通預金利子	17		
計	2,746,541	計	13,604

(総収入) 2,746,541 - (総支出) 13,604 = (現在残高) 2,732,937

2021 年 1 月 31 日 残高内訳	
現金	0
郵便貯金	1,928,678
郵便振替口座	804,259
計	2,732,937

若竹会後援会の収支決算書の内容を審査したところ、適正に処理されていることを認めます

2021 年 2 月 24 日

升元 恵三郎

中尾 泰美